

議 事 録

会 議 名	第 9 回美祢市新本庁舎整備アドバイザー会議			
開 催 日 時	令和 2 年 10 月 15 日 (木) 午後 2 時～午後 4 時 00 分			
開 催 場 所	美祢市役所本庁舎 3 階委員会室			
委員出席者	内 田 文 雄	○	杉 本 智	○
	加 藤 久 雄	○	吉 野 一	○
	鈴 木 素 之	○	藤 岡 周 志	○
	小 金 井 真		石 田 晋 也	○
	遠 藤 勇 一	○	山 本 真 佐 子	○
	出席 9 名 / 欠席 1 名			
事務局出席者	総務部長 田辺 剛	総務課長 竹内 正夫		
	庁舎整備推進室長 松野 哲治	庁舎整備推進室長補佐 竹田 龍也		
	庁舎整備推進室係長 中島 高輝	庁舎整備推進室主任 白井 宏生		
	株式会社東畑建築事務所 (新本庁舎整備基本・実施設計業者) 4 名			
備 考				
内 容				
1 開会挨拶	内田会長による挨拶。			
2 報告 (1) 新本庁舎配置及び各階平面計画について	<p>新本庁舎配置及び各階平面計画について事務局から説明。</p> <p>事務局 各階の配置状況は、1 階は窓口部門、市民の利用頻度の高い部署の配置を予定し、2 階は管理部門及び教育委員会部門並びに特別職を配置。3 階については議会関連部門と災害対策本部兼用の会議室を配置することとしている。そして第一別館については、主に事業部門の配置をする予定。</p> <p>質疑は以下のとおり。</p> <p>委員 資料の平面図 (D-02) にある色分けはどのような意図か。</p> <p>事務局 平面図右上に凡例を記載しており、凡例にある部署の配置を予定。次ページも同様。</p>			
3 協議事項 (1) 美祢市新本庁舎整備基本設計書 (案) について	<p>美祢市新本庁舎整備基本設計書 (案) について受託業者から説明。</p> <p>質疑は以下のとおり。</p> <p>委員 浸水想定については、本日初めて 3m という数字が出た。1 階にある情報機器等は全滅するという前提になると思うが、どうか。</p> <p>事務局 県から市に新しい浸水想定区域の説明があり、当敷地内の想定は 3m 程度ということであった。可能性としては千</p>			

議 事 録

年に一度程度。庁舎機能を高台に移すということも考えられるが、災害対策本部だけ移動したのでは市民の納得は得られないだろう。屋上に発電機を設置して2階3階で活動を行うということを割り切っているしかないと思っている。浸水時間も12時間程度という想定もあるので、浸水後の災害対応を整えることが重要。

委員 確かに、3mに対して完全に対応できるとは思えない。1mまでの浸水には対策を講じ、3m級の最悪なケースではシミュレーションしておく必要がある。

委員 0.5m程度までは外壁と止水板での対応となるか。

事務局 0.5mまでは床面高、0.5～1mまでは止水板で対応。

委員 新庁舎は建築基準法上の耐火構造ということで良いか。

受託業者 準防火地域の3階建てなので耐火構造としている。

委員 法規制のチェック項目の追加を。建築基準法上、排煙設備、耐火構造、防火区画、堅穴区画の処理等、基本設計で項目を設けた方が良い。遵守する方針を示しておく、次の実施設計でその基準を基とした材料選定ができる。

受託業者 承知した。

委員 浸水の件、水に濡れてはいけない物をリストアップする等のソフト的な対策を市役所内で共有しておき、災害後の想定をしておくこと。

委員 市民広場のレベルは若干勾配がつくということか。アスファルト舗装か。

受託業者 市民広場の舗装は透水性の舗装としている。緩勾配としており、多目的に活用できるようインターロッキング等を想定している。

委員 インターロッキング等は車の乗り入れができない制約があることも。舗装の使いやすさはイベントによって変わるので、主催者側での対策にならざるを得ないだろう。

委員 実施設計の段階でイベント主催者と擦り合わせができたなら。ヒアリングを行えば後で問題にならないのでは。

委員 活動団体と協議することによって庁舎整備に興味を持ってくれるだろう。

委員 完成後に市民に見守ってもらう意味でも重要かと思う。

受託業者 こちらとしても広場機能の利活用について検討していた段階であり、イベント時の床材料等の指導、アドバイスをいただきたい。

委員 バリアフリー化の件について、床の材質や階段、トイレ、窓口カウンター等、様々な事例の対応に触れておいた方が

議 事 録

良いのではないか。

受託業者 実施設計で詳細を詰める予定。感染対策についても検討する必要があり、現在の仕切り板では高齢者が聞き取りにくい。きちんと伝えながら感染対策を講じるようなカウンターデザインとし、ユニバーサルな庁舎を目指す。

委 員 福祉関連団体による庁舎見学を行い、現物を見ながら説明を行えばわかりやすいと思うが。

受託業者 動画で説明するような仕組みはできるかもしれない。

委 員 バーチャル視察ということであれば感染の危険性も軽減される。計画の段階で気になる点、疑問点も増えていくので、視察は重要である。

事 務 局 できるだけ対応を検討する。

委 員 端にあるボイドでは効果が低いのではないか。また、気流のシミュレーションは行う計画となっているか。

受託業者 コンパクトな縮充型庁舎ということなので、階段室を有効に使い、ボイド空間として風を抜く工夫をしている。感染対策で換気は重要になるので、気流をコントロールできるよう検討する。フィジカルなシミュレーションを行っていきたい。

委 員 斜めの一番長いフロンテージの面が西向きだが、日射コントロール対策はどのようにされるのか。

受託業者 西日対策については、水平の庇と縦のルーバーで検討している。シミュレーションをし、日差しを切りながら効果的な視認性を確保したいと考えている。

委 員 空調の件で、室外機が壊れたら空調が全く使えなくなり、サーバーが数時間しかもたないということも。一定量の冷房を電算室に残せるよう配慮を。

消火設備について、電算室には機器類に配慮した炭酸ガス消火器を設置する等の措置で良い。

耐震構造なのである程度の揺れが想定される。OA 機器の耐震にも考慮を。また電源コンセントについて、1階の浸水時にハーネスジョイント内に水が侵入する可能性もある。直接分電盤から防水ケーブルによる床上コンセント等の配慮があった方が良い。

それから2階防災危機管理室の機能を3階災害対策本部の会議室に素早く切り換える機能を考える必要がある。また、当防災危機管理室の機能については、庁内ネットワークを利用して総合支所とも情報共有ができるように。

委 員 支所と本庁のネットワークについては非常に重要な

議 事 録

テーマである。市全体の ICT 環境の基本的な考え方を並行して考えないといけない。本庁舎整備を機会に ICT 環境が改善される期待もあると思うので、調整してほしい。

委 員 車寄せは必要か。駐車場は少しでも台数を確保した方が、市民もなるべく近くに停めたいだろう。

委 員 第 3 別館の農林課は一時的にどこかに移転されるのか。

事 務 局 第 3 別館の解体は、敷地外なので合併推進債の対象外とのことである。農林課については庁舎建設後に移転する予定でスケジュールを変更する。

委 員 これから事業費を fix され、その事業費をもって財政当局から市長査定を経て議会に通すのか。また、その事業費で債務負担を行う予定か。基本設計が終わった段階で総事業費を fix されると解釈してよいか。

事 務 局 基本設計の事業費を fix して予算措置とは考えていない。2 年事業だが、当初予算の要求は難しいだろう。実施設計で、ある程度固まった額で予算要求を考えている。

委 員 地盤調査で 6 本ボーリングされているが、調査内容を図示した資料が必要。液状化の危険性がある土地上の建物支持としての杭をどのようにするのか、もっと詳細な情報を。

事 務 局 当初提出された資料には掲載されていたが、ページが多かったためまとめてもらった。美祢市には溶食洞、空洞が多々見られ、ボーリング調査をして対策について検討しているところ。

委 員 複雑な地盤構造なのでクリアにしておいた方が、後から問題になってもいけない。資料として提示できるように。

事 務 局 杭を打つ場所は追加でボーリング調査を行うこととしている。

委 員 短期間で大きな修正を行われ、大変だったと思う。コンパクトで利用しやすい庁舎となると思うので、引き続きお願いしたい。また、今後の実施設計では、できるだけ市民周知を行われ、市民参加を促すよう検討してほしい。

4 その他

- ・ 次回 第 10 回
アドバイザー会
議について

第 10 回アドバイザー会議について事務局から説明。

事 務 局 次回開催が最後になると思われる。協議項目としては、工事発注形態や方法のアドバイス、実施設計の進捗状況確認を考えている。詳細については、調整後速やかに連絡するが、来年 3 月、今年度末の開催を予定しているので出席

議 事 録

5 閉会	をお願いしたい。 質疑なし。
------	-------------------